

ReAL

2012.1 Vol. 16

NIKAKAI ASSOCIATION OF PHOTOGRAPHERS



文・作品

安食ひろ

安食ひろ(あじき ひろ)
1948年島根県出雲市に生まれる
1971年～1973年インド、欧州、アフリカを放浪
1981年インド、エジプト窺見学
1987年田部美術館大賞、茶の湯の造形展で大賞受賞
1999年3月ブータンで野点二席をし深呼吸
2005年インドにて個展・茶会。メトロポリタン美術館(NY) パサラ茶碗展示・収蔵
2006年ドイツにて茶会
2007年東京にて求美图夢(キュビズム)茶会
2008年隠居宣言(還暦)
2010年マリア・セラノに捧ぐ。ルイス・バラガン美術館(メキシコ)

Photo：沼田早苗

新春白昼堂々酔夢談

大竹先生とのご縁で、この巻頭エッセイをとのこと。折角ですので懐かしい故・植田正治先生も加わって頂き、大竹先生、私の戯れ事と、ご笑読の程を。

私 植田先生、久しぶりですねえ、あつちでどげしちよられます？

植田 おー、ひろさん久しぶり、ズーズー弁が懐かしいねえ。あ、省ちゃん、元氣そうね。

大竹 正ちゃん久しぶり、あれ、今デジタルカメラで撮っているの？

植田 こっちは皆、光輝いているから、何を撮っても真つ白なんだよ、だから、あとで皆、影を画かないといけないのよ、まるでもう、絵画さの仕事だね。この前、秋山君に逢ったら、彼は花の写真撮ってるから、色も塗らなくて大変と嘆いてたよ。

大竹 三人揃うのも久しぶりだね。ひろさんのアトリエで、僕は粘土でライカのカメラを作つて、あれどこに、しまったかな？

植田 ひろさんも大分、年をとったね。いやー還暦を過ぎましたけんね。

大竹 隠居宣言してたね。仕事止めたの？

私 そうではなくて、昔の人の方が、仕事も生き方も、お洒落じゃないですか、だから隠居とか隠棲とか、憧れですよ。六〇才になったから、後は我儘に仕事させて貰いますということです。

大竹 今まで我儘にやつてたでしょ。

私 そう見えます、不自由でしたけど。(笑い)

私 最近、乙というのに嵌っているんですよ、甲乙つけ難いというは、やはり甲の方が上つて感じですよねえ、しかしこの二番目の乙の方が、色々な物が見えたり、感じたり、実に乙なもの…という感じ。この乙な生き方をしたいものです。

植田 名残りおいしいけど、そろそろ帰るよ。下に早苗ちゃん来てるから、お茶飲んで行かない？おーい早苗ちゃん、お茶入れて呉れない!!





「御目見得処」歌舞伎の名場面「寿曾我対面 工藤館の場」で型が決まり歓声に包まれ、沢山のおひねりが飛び交う絶好の場面
アサヒペンタックスLX・レンズ：85mm・絞りF4・シャッター：1/125秒・富士フイルムネオパン400 PRESTO

「地歌舞伎に 魅せられて」

加藤徹 会友・岐阜支部

私が地歌舞伎に、はじめて出会ったのは、いまから約30年前、岐阜県各務原市の村国座でした。子供たちの真剣な演技や、表情に惹かれそして徐々に地歌舞伎にのめり込んでいきました。

その後、全国に約200ほど地歌舞伎保存会があり、そのうち約30ほどの保存会と芝居小屋12カ所が岐阜県にはあり、地歌舞伎日本一と知り、大変驚きました。

地歌舞伎の魅力は、素人役者と客席の繋がります。型が決まれば「イヨー！○○新聞屋」といった職業の掛け声が威勢良くかかり、舞台と客席が一体となり歓声とおひねりが飛び交う様子に感動しました。また、地歌舞伎は、ほとんど神社の祭礼として奉納されるもので、1年に1回のみの催事です。これに向けて地域の人々が力を合わせ、地元の振付師、太夫、顔師、じかた、衣装方、床山、大道具等々が素人役者と一体となって盛り上げ真剣に打ち込みます。

そういった人々の生きざまを私の写真のライフワークとして今後とも撮り続けたい。

「日御碕の波頭・ 群翔に魅せられて」

鉄田武範 会員・広島支部

25年前だったか、日御碕で、日本海特有の高波が経島（海猫の繁殖地）に押し寄せて砕け散る迫力と、鳥から一斉に飛び立つ海猫の美しさを目のあたりにし、その光景に魅せられた。

毎年のことながら、冬の撮影シーズンには天気予報に注目し、荒天予報の風向き・波の高さ等の情報から好条件のときを狙って、年に数回撮影にでかけている。

冬の日御碕は、強風と寒さと山陰特有の天候急変に悩まされるがそれに耐え、脳裏に描いた情景に出会った時の感動と喜びは大きい。

近年は温暖化の影響か、私が求める気象条件に恵まれることが少なく、撮影回数も減少気味で、いまだ夢見る情景に出会えず、心残りである。

強風と寒さに耐えうる体力がある限り、撮り続けたい撮影地である。



F100・レンズ：ニッコールズーム80～200mm・絞り：F8・シャッター：1/500秒・フィルム：プロビア400X



ニコンD300・レンズ：18～200mm ズーム・絞り：F8・シャッター：1/500秒・ASA400 露出補正 -1.5

この10年近く、「愛」というテーマで、白鳥や黒鳥などの親仔を撮影しています。雛鳥が親鳥の背中に乗るのは、白鳥、黒鳥ともに数日間だけです。黒鳥の雛が産まれるのは2月初旬で寒い日には雛を背中に乗せ、羽で覆い寒さから守ります。幾つもの条件が重なることが大切で、タイミングを逃せば作品のようなシーンにはお目にかかれません。早朝からの撮影は大変ですが、良いシーンに巡り会えた後の缶コーヒーの味は格別です。上手く親の背中に乗れた雛は得意げ？に他の雛を見るのが何ともいえません。鳥の言葉がわかったら聞いて見たいと思います。残念なのは雪が降っているときのこのシーンがまだ撮れていないことです。人間の幼児虐待のニュースを聞くたびにこの鳥たちのように情愛があればと思います。

「黒鳥の親仔」

堀田俊秀 会員・山口支部



ペンタックスK7・レンズ：ペンタックスDA12 ～ 24 mm F4ED・絞り：F8・シャッター：オート・ストロボ使用

「夕暮れの海辺にて」

一色龍太郎 会員・愛媛支部

沖縄が日本に復帰した翌年の1973年に、初めて沖縄を訪れました。その時、初めて見た沖縄のコバルトブルーやエメラルドグリーン色をした鮮やかな海どこまでも透明と思えるほどの、透きとおった海、青い空に真っ白な真綿のような大きな入道雲、一面に広がるさとうきび畑、那覇市内の平和通りで商いをする女性たちの姿や素朴な生活風景、私にとっては見るものどれもが驚きであり、新鮮に見えました。

その後、そんな沖縄にすっかり惹かれてしまい、沖縄本島や沖縄の離島の島々へ都合がつけばカメラを持って訪れて、シャッターを押し続けました。

そしてそれから40年近くの年月が経ち、今日の沖縄の様子や自然環境などは、復帰直後とは大きく変わりましたがそれでも美しい、沖縄の風景や、南国沖縄ののんびりとした風土や人柄などにひかれるのでしょうか。未だに許される限り夏の沖縄を訪れ、那覇の裏通りや市場や沖縄の離島の島々を、カメラを肩にかけ私にとつての原風景や新しい発見を求めてぶらぶらと歩き続け、気ままにシャッターを切り続けています。



LUMIX GF-1・レンズ：G VARIO 14～45mm ASPH・絞り：F 7.1・シャッター：オート・ISO：100・WB：AWB

「晴日」

藤森順治

会員・長野支部

95年の会友推挙以来、常に複数のテーマを持ち、数年に一度の個展を開催してきました。

本年2月にペンタックスフォーラムで行われる写真展「山里逍遙」で6回目を数えることになりました。そのテーマの中の一つに地元を中心とした町撮りがあります。思うように時間が取れずに撮影にいけない時などにはほんの1時間でも地元の町だったら撮影は可能です。そんな時に活躍してくれる

のがミラーレス一眼です。メーカーも増え、選択肢も広がり町を歩く私にはコンパクトで軽量、そして描写力等大きな不満はありません。今では貴重な戦力になっています。カメラが欲しくてウインドーを眺めていた高校時代、ペンタックスを購入して手当たり次第写真を撮っていた青年期、写真雑誌に

自分の写真が掲載されるのを夢見て月例にのめり込んだ時期、月例やコンテストを卒業し新たに写真展による作家活動をしている今、40年以上に及ぶ写真との関わり、写真を通じて得た多くの友人を大切に今後も真摯にまた楽しく写真に取り組んで行きたいと考えています。



コンタックスRX・レンズ:VS-T*35〜70mm・絞り:F8・シャッター:オート・ISO:100



キヤノンEOS5D Mark II・レンズ:キヤノン20〜35mm・絞り:F5.6・シャッター:オート・ISO:1600

「キッチン」

平野史子 会友・徳島支部

デリー空港に到着。税関を通過して外へ出る。最近は厳しくなり通過に相当な時間がかかる。ようやく外に出る。独特の暑さと匂い。再び訪れることができた喜びと撮影への期待感が込み上げてくる。人、人、人、大勢の人々。そして私を凝視する目。その瞬間の感覚がたまらなく好きで幾度となく通っている国、インドです。

掲載作品は村を訪ねてのスナップ撮影の二コマです。早朝から日暮れまで風土と人間そして生活を撮ることに集中します。朝もやの中、ぞろぞろと人々が家の中から庭先へ出てきます。火をおこして朝食の支度をする人、家畜の世話をする人、無邪気に走りまわる子供たち。すべてが私を魅了する光景です。朝もやが消えてしまいうまで夢中でシャッターを切ります。私にとって最高に充実した時といえます。

今、どの国も時代とともに変貌しています。私の愛するその国も自然とともに共存する地域の暮らしが失われつつあります。でも私はその国には変わることのないエネルギーを感じています。再び新しい出会いを求めて訪ねてみたいと思っています。

「祈る」

宮崎圭介 会員・長崎支部

私の住む島原半島は、370年ほど前のキリスト教弾圧による島原の乱での悲劇、200年前の雲仙・普賢岳噴火、20年前の再噴火による火砕流災害など受難続きの歴史を持つ。また近くの長崎では原爆落下に伴う放射線被害もあつて、今回の東日本災害が私どもの歴史とオーバーラップして、身近なものを感じて心が痛む。

町は全国の皆さんの温かい支援により復興がなり、美しく甦った。豊かな湧水が流れ温泉の恵みに浸り、心安らかな毎日の生活に感謝して手を合わせ日々。「ふるさと」の心の風景を記録に残したいとシャッターを押しながら、東日本人々の一日も早い復興を静かに祈る。

山梨・冬富士百景

流石 匠（会員・山梨支部）

【冬の山中湖】

富士五湖の中でも一番東に位置する山中湖の冬の朝は斜め後方からの順光で、早朝の赤富士の撮影地として人気が高い。また、雪景色や逆さ富士、結氷した湖、霧氷など前景として使えるモチーフも豊富だ。午後になると太陽の位置が富士山の後ろ側に廻って来るため、逆光となる。富士山頂から太陽が昇る瞬間と夕日が沈む瞬間に、まるでダイヤモンドが輝くような光景が見られるダイヤモンド富士も、山中湖では夕日が山頂に沈む10月下旬から2月下旬まで楽しむ事ができる。中でも、湖面の逆さ富士に映るダブルダイヤモンド富士は、10月20日頃から11月15日頃までと、1月25日頃から2月20日頃までの2回楽しむ事ができる。

掲載の作品は2月中旬午後3時35分頃ダイヤモンド富士を捉えたもので、結氷した湖面に映った光模様が美しかった。

●アクセス：＜電車＞富士急行線「富士山駅」下車→「平野行きバス」で30分 ＜自動車＞中央道→東富士五湖道路「山中湖IC」から、10分 ●問合せ：山中湖観光協会 0555-62-3100

【冬の精進湖】

富士山の北西部に位置する精進湖の早朝は、富士山の左側から太陽が昇る逆光となる為、夜明けの空の色や雲の変化、



山中湖のダイヤモンド富士



精進湖の朝焼け

また逆光に映える湖などが狙い目となる。湖に朝もやが出る時などは、美しいシーンが期待できる。午後からは順光線となり、山全体に光が廻る夕暮れには残照で山肌が赤くなる。したがって精進湖は、夜明けから夕闇になるまで撮影が楽しめる。

掲載の作品は、2月初旬朝焼けの空と湖の氷模様を捉えたもので、美しい空を多めに逆さ富士を氷模様の間に取り入れ、美しい富士山写真として表現した。

●アクセス：＜電車＞富士急行線「河口湖駅」下車→本栖湖行きバス「精進湖」下車＜自動車＞中央道「河口湖IC」→R139→精進湖へ ●問合せ：富士河口湖町観光課 0555-72-3168



霜を纏った赤い薔薇が首をうなだれています。青空と雲を背景に広角レンズで風景的に撮ってみました
キヤノンEOS5D・レンズ：EF16～35mm(16mm)・絞り：F11・シャッター：オート(-2補正)・ISO：100・ストロボ：-1.5補正

「冬薔薇」

大貫 亘 会員・茨城支部

私の住む茨城県北部・奥久慈は、関東地方北端の山間に位置し、冬は晴れる日が多いのですが、早朝は東北並みの厳しい寒さとなります。

陽だまりの土手には、真冬でもタンポポやホトケノザなどの野の花が咲き、早朝は霜で凍った花姿を見ることが出来ます。

当然のことながら、庭や公園に咲く薔薇も一夜にして凍ります。

いささかの紅をのこして冬の薔薇
これは、今は亡き創立会員秋山庄太郎先生の詠まれた句で、わたしに冬薔薇を撮るきっかけを与えてくれた句でもあります。

ここ数年、秋山芸術の足元にも及ばないことは承知の上で、薔薇の花姿を撮り続け、この1月に写真集「薔薇／秋から冬へ」にまとめてみました。

東京・早春の上野撮影一日コース

須賀一（会員・東京支部）



雪の上野東照宮ぼたん園

上野はアメ横と盛り場で有名だが少し足を延ばして上野公園、谷中をぶらり歩けば四季折々被写体には不自由しません。まず早朝不忍池で朝日を撮影、真正面に弁天堂とスカイツリーをバックに飛来する渡り鳥を撮影、9時30分になると東照宮のぼたん園が開園するので、なるべく混雑しない内に撮影(ここは雪が降ったら絶対お勧めの所)、午後、谷中寛永寺の周辺を撮影、時間が有れば下町情緒が未だ残



スカイツリーを望む朝的不忍池

っている根津、谷中の路地や植木を撮影、夕方、谷中銀座の夕焼けダンダン坂付近で夕焼けと買い物客のスナップを撮影。約13000歩、充分手応えがあったと思います。

早春の上野周辺催事

1月1日～2月中旬：東照宮ぼたん園

1月10日：鳥越神社 どんと焼き

2月3日：五條天神 節分祭 うけらの神事

3月3日：隅田川 流し雛

北海道・厳寒姿

川本征紀（会員・愛媛支部）

【摩周湖】

摩周湖の冬は霧氷と湖面の結氷模様が多彩で冬には厳寒ならではの特別な姿を見せる被写体です。厳寒期 -20℃位の気温、高湿度、無風～風速1m程度で見られるダイヤモンドダストが出る条件の日の出直後(6時～8時)には太陽の光の帯ができるサン

ピラー現象も撮れる期待があります。

●北海道川上郡弟子屈町 ●時期：2月上旬～3月上旬 ●アクセス：JR釧網本線摩周駅からタクシーで約30分。摩周湖第一展望台下車。 ●問合せ：摩周湖観光協会 015-482-2200



摩周湖のサンピラー現象



知床羅臼沖のオオワシ

【羅臼のワシ】

冬の知床は野生動物が被写体として映える好ポイントです。羅臼港から流氷クルージングに乗り、沖合いの流氷ゾーンで間近のオオワシなどの生き様を手持ち撮影するので、ブレに注意が必要です。レンズは200mm～400mmが使いやすいと思います。

●北海道目梨郡羅臼町、沖合いの根室海峡 ●時期：1月下旬～3月上旬 ●アクセス：JR「釧路駅」→中標津バスセンター経由羅臼営業所着発（阿寒バス）※クルージング予約は泊地の宿で要確認。天候によりクルージング中止も多いので注意。早朝5時30分から、主に午前中実施。所要時間は約2時間30分 ●問合せ：羅臼町観光協会 0153-87-3360

福岡・氷爆の難所ヶ滝

三笠正勝（会員・福岡支部）

最近福岡では温暖化のせいで雪が積ることが少なくなりました。それでも寒波到来で数日寒い日が続くと難所ヶ滝の氷瀑の写真がテレビのニュースで放映されます。昨年は10数年ぶりの大きな氷瀑ができて多くの登山客で賑わいました。

難所ヶ滝への登山は宇美町の昭和の森キャンプ場の駐車場に車を止めて登ることをお勧めします。できるだけ朝早くキャンプ場に到着してください。朝早く車を止めないで日曜日などは置くことができない場合もあります。車を止めたら川原谷登山



凍てつく難所ヶ滝

道に入ります。途中積雪が多くなったらアイゼンを付けて登って下さい。特に下りはスリップして転倒の危険があり注意が必要です。夏の小さな滝がここまで大きくなるのか？見事に凍って絶景です。

●福岡県糟屋郡宇美町 ●時期：冬の寒い日が続いた後 ●アクセス：昭和の森キャンプ場駐車場より登り約1時間30分、下り1時間 ●問合せ：宇美町役場 092-932-1111

青森・八甲田の樹氷と冬の十和田湖

櫻井孝一（会員・宮城支部）



八甲田山の樹氷群

【八甲田の樹氷】

厳冬期は青森、八甲田の樹氷の撮影がおすすめです。ゴンドラで15分、山頂駅に到着すると、すぐ前に巨大なモンスター樹氷がせまります。撮影地は登山靴や、ブーツでも大丈夫ですが、念のため、スパッツを持参して足首から雪の浸入をふせげばベストです。山の天候は変わりやすく、また、冬は太陽

の高度も低いので変化にとんだ撮影が楽しめます。

●時期：12月下旬～3月上旬 ●アクセス：東北新幹線「新青森」下車→JRバス十和田湖行き「ロープウェイ駅前」下車 ●問合せ：八甲田ロープウェイ 017-738-0343、青森市観光課 017-734-5157



冬陽の十和田湖

【冬の十和田湖】

四季おりおりの賑わいを見せる十和田湖。さすがに冬になると観光客の姿がまばらですが、カメラ愛好者にとっては絶好の撮影チャンスとなります。年々暖冬ぎみの気候ではありますが、冬の十和田湖は夏や秋とは全く違う風景を見せます。強い北風のため湖面は荒れ、波飛沫となり岸边に打ちつけられ氷になります。湖岸の木や岩に打ちつけられた飛沫は色々の形をつくり写欲をそそります。時間は早朝か夕方、日が沈むころにチャンスありそうです。冬の湖岸は足元に特に注意が必要です。電池の消耗も激しいので予備を忘れないように。

●アクセス：東北新幹線「八戸駅」下車→JRバス十和田湖行き（午前10時発と午後1時15分の2本のみ）時間は2時間15分位（休屋まで） ●問合せ：十和田湖総合案内所 0176-75-2425

浜口タカシ写真集

「報道写真家浜口タカシが見た！東日本大震災の記録」

浜口タカシ 会員・神奈川支部

写真家として60年、戦後激動の日々を捉えて来た。昭和39年の新潟地震を始め阪神・淡路大震災など多数撮影取材してまいりました。この度の東日本大震災は千年に一度という想像を絶する未曾有の大津波で壊滅的な被害を受けた。岩手県・宮城県・福島県の被災地や避難所を取材3・11当日の証言としてインタビューを特集で掲載した。また、世界最大の液状化と言われる千葉県浦安市、石巻市、女川町の液状化で崩壊したビルやマンホールなど延べ1,200キロに及ぶ撮影を行った。「被災地の惨状」見て津波の破壊力に恐怖感を覚え、時には涙がこぼれ畏敬の念を抱きながらシャッターを切った。

二科会写真部会員で、被災地、宮城県気仙沼在住の櫻井孝一



がれきの上に泳ぐ鯉のぼり「がんばろう東北」希望と勇気を感じた。(6月14日・陸前高田市)

員と、仙台の宮城支部員、福田絹子さんに全行程11日間撮影協力案内していただいた。12月1日東日本大震災の記録写真展、写真集の出版記念の集いが横浜ローヤルホールで盛大に開かれた。発起人代表として、知事と市長の会、藤木幸夫会長の挨拶、各界から170名が出席した。(社)二科会写真部 大竹省二理事長・創立会員から祝電が披露され会場が盛り上がった。横浜みなと町ギャラリー写真展と出版の集いでの救援金104,072円を12月27日付けで神奈川新聞に寄託した。



浜口タカシ 写真集
『報道写真家 浜口タカシが見た！東日本大震災の記録』
2011年12月1日発行
245×240ミリ・モノクロ108ページ
税込価格:2,000円 送料:340円



仮設住宅に移って震災1ヶ月前に生まれた翔ちゃんを抱いて喜ぶ井口一茂さん一家 (6月14日・気仙沼)

はまぐち たかし
1931年静岡県生まれ。1968年二科会写真部会友推挙、1973年会員推挙。当会神奈川支部の創設に尽力し長く支部長を務めた。2011年日本報道写真連盟特別功労賞ほか受賞多数。主な著書に『記録と瞬間』大学闘争70年安保へ』など。

荒井賢治写真集

「限界集落・ふる里に抱かれて」に寄せて

丹羽正仁 会員・愛知支部



荒井賢治 写真集
『ふる里に抱かれて』
2011年12月7日発行
B4判変形、モノクロ 144
ページ、上製本
税込価格:4,500円
発行:徳島新聞社



生きることを

生涯のテーマに

写真家・荒井賢治さんが「写真家としてやるべきこと」を貫き、並々ならぬ覚悟で取り組んだ仕事「限界集落・ふる里に抱かれて」であると思います。完成までに5年の歳月をかけ、特にこの1年はがんと闘いながら由子夫人と二人三脚で成しえた仕事は実に立派です。又、由子夫人の計らいで製作途中の写真集を特別に2冊完成させ、本人が病床で手にすることができたこと、これは荒井さんにとっては何よりの喜びであったと思います。

「生きる」ことの素晴らしさを感じとって貰いたい」そんな想いで撮り続けたという写真の数々。
その一枚一枚から彼の想いは私達の心にストレートに伝わってきます。写真集の中の集落の人々と共に在る彼の生きざまは、私自身安易な言葉や思いだけでは到底語ることはできませんが、この写真集の中で「写真家 荒井賢治」が確実に生きているということだけは確かです。

荒井さんは(社)二科会写真部のことが本当に好きで、ことある度に二科のことを考えていました。荒井さんの二科に対する思いは我々も受け継いでいかなければなりません。彼が逝ってしまった現実を今もなお受け入れられずにいますが、荒井さんのような素晴らしい方と出会え、一緒に二科の仕事をすることができたことに感謝しています。最後に、改めて荒井賢治さんのご冥福をお祈りいたします。 合掌

あらいけんじ
1948年徳島県生まれ。1996年二科会写真部会友推挙、2004年会員推挙。二科会写真部理事、徳島県美術家協会理事などを歴任。1991年JPS展金賞。写真講座の講師、個展の開催など精力的に活動。2011年逝去。

TOPICS

支部展情報

第48回山口支部公募展

会期…2月3日(金)～5日(日)
会場…周南市美術博物館
会期…3月9日(金)～11日(日)
会場…小郡文化資料館
会期…4月6日(金)～8日(日)
会場…宇部市文化会館
問合せ…堀田俊秀山口支部長
TEL 0 8 3 4・8 8・2 0 8 3

第29回佐賀支部展

会期…2月8日(水)～12日(日)
会場…佐賀玉屋南館 6階ギャラリー ローズルーム
問合せ…雪竹智佐賀支部長
TEL 0 9 5 2・8 2・2 7 0 0

第37回群馬支部展

会期…2月17日(金)～21日(火)
会場…高崎シティギャラリー 第1展示室
問合せ…井田裕二郎群馬支部長
TEL 0 2 7・3 7 3・7 4 8 8

第62回中部二科展

愛知・岐阜・三重3県の絵画・彫刻・デザイン・写真4部合同展
会期…3月13日(火)～18日(日)

掲載や当会の年譜など、資料としてもご利用いただけます。頒価は8,000円です。

■全国4か所で撮影会を開催

東京・愛知・大阪・徳島の全国4か所で当会会員・会友・支部員のみならず一般の方にもご参加いただける撮影会を行います。開催地周辺の支部がタッグを組んで撮影会を盛り上げます。4か所それぞれにバラエティに富んだテーマで当会会員が指導にあたります。各撮影会の優秀作品は小誌の創立60周年記念号(今秋発行予定)に掲載します。ふるってご参加ください。

9月7日には二科会写真部展の授賞式に併せて創立60周年記念式典を執り行います。本年度ご協賛を賜りました各社に感謝状を、また当会の礎を築き写真美術を牽引された大竹省二創立会員に特別功労賞を贈呈いたします。

(創立60周年記念事業実行委員
長角尾栄治会員)



60年史

二科会写真部 創立60周年記念事業のご紹介

●撮影会スケジュール●

東京 2012年2月23日(木)
ハウススタジオ外国人モデル撮影会
参加費：15,000円
主催：東京支部・埼玉支部・茨城支部
協力：千葉支部・神奈川支部・山梨支部
問合せ：角尾拙臣子会員 ☎042-795-9052

大阪 2012年5月13日(日)
石見神楽・淡路人形・お遍路姿のモデル撮影会
参加費：4,000円
主催：大阪支部
協力：京都支部・滋賀支部・兵庫支部・奈良支部・和歌山支部
問合せ：石川照雄会員 ☎072-982-5830

徳島 2012年10月14日(日)
阿波踊り・人形浄瑠璃・小屋掛け大衆劇団撮影会
参加費：7,000円
主催：徳島支部
協力：香川支部・愛媛支部・高知支部
問合せ：平野史子会友 ☎090-1573-6088

愛知 2012年11月23日(金・祝)
秋の明治村と和装モデル撮影会
参加費：3,500円(会員・会友・支部員) 4,500円(一般)
主催：愛知支部
協力：静岡支部・岐阜支部・三重支部
問合せ：青山昌弘会員 ☎090-3484-5551

2012・第60回二科会写真部展 公募規約が完成

第60回展の公募規約が完成し、前回第59回展の応募者全員、会員・会友・支部長はじめ関係先へ配布しました。応募には専用の応募書類が必要です。希望者は、FAX・Eメール・ハガキにて事務局へご請求下さい。二科会写真部のホームページからもダウンロードできます。(請求先は20頁参照)

■「第60回展」公募概要

○部門と応募資格：A 一般部門、B 組写真部門…18歳以上。C 学生部門…高校生・大学生・各種学校生・専門学校生に限る。

○応募点数と応募形態：A 一般部門、C 学生部門…単写真に限る。B 組写真部門…3枚組に限る。各部門ともにプリント(四ツ切～A4)に限る。電子メディア(CD・MO等)の応募は不可。

○応募受付期間：2012年3月1日(木)～7日(水)消印有効

○応募料：A 一般部門…1点2,000円、B 組写真部門…1組(3枚組)5,000円、C 学生部門…無料。

○審査員：一般社団法人二科会写真部会員

○発表：6月末に応募者全員に直接通知、7月7日に公式発表。

○応募プリントの返却：希望者のみ有料で返却(1名2,000円)。学生部門は返却しない。

○「作品テーマ」と応募作品について：テーマは自由です。作者自身が自由に考えて表現し

たオリジナル作品、個性を生かした新鮮味のある作品が多く応募されることを期待します。

○画像の加工について：画像の加工は自由ですが、画像は必ず応募者ご自身で撮影したものに限ります。インターネットなどでダウンロードした著作権フリーの画像などを使用したものはオリジナル作品とは認めません。

○応募方法について：応募方法は、郵送か宅配便に限ります。プリント配達途中の事故を考えて、厚紙で挟み、必ず手元に控えが残る書留・宅配便などの発送方法を勧めます。

※応募作品のオリジナルフィルム、パソコンなどで画像処理したオリジナルデータは、入選内定時すぐに大伸ばし作業ができるよう必ず保存し、各自で確実に管理してください。

■二重応募・類似作品と応募者・指導者のモラルについて

毎年、入選内定後に、県展や他の写真公募展などの入選作品だった理由で、本人からの辞退あるいは入選内定取り消しが増え、応募者のモラルが問題となっています。特に最近は組写真

の1枚が該当する事例が多数みられます。入選内定後でも、二重応募は勿論、既発表作品との類似であると審査員が判断した場合は入選を取り消します。

類似作品について：同一作者が同時期に同じ被写体を撮ったコマ違いは、類似作品になります。組写真の1枚が該当しても同様です。

応募者への注意事項：応募の際は、その作品が他のコンテストに応募中でないか、支部公募展などで入賞入選した作品、支部展の図録に載った作品と類似していないかを再確認し、自分で判断しかねる場合は、会員・会友はじめ指導を受けている周囲の方に確認するのも一案でしょう。

応募者のモラル、指導者のモラル：応募者は、自作に責任を持ち、二重応募や類似作品に対するモラルを守る姿勢を忘れないください。応募者も指導者も共に類似・多重応募防止の意識を持つことが肝要です。支部長・会員・会友が先導してモラルを守り、特に公募規約を熟読され、責任を持って指導されるよう願います。

(事務局長 片岡順一会員)

INFORMATION



■ 2012年度行事予定

- ◎ 2012年度春期定時会員会友総会（出席者は会員・会友）
2月22日（水）東京プリンスホテル
- ◎ 役員・支部長等連絡会議（出席者は本部役員・支部長）
2月22日（水）東京プリンスホテル
- ◎ 第60回展一般公募の応募作品受付
3月1日（木）～7日（水）の7日間
- ◎ 第60回展会員・会友の作品受付
3月12日（月）～13日（火）の2日間
- ◎ 第97回二科展＝第60回写真部展
9月5日（水）～17日（月）国立新美術館
- ◎ 2012年度夏期定時会員会友総会（出席者は会員・会友）
9月7日（金）東京プリンスホテル
- ◎ 第60回展記念式典・授賞式・懇親会（出席者は来賓・会員・会友・入選者および同伴者）
9月7日（金）東京プリンスホテル

■ 2012年1月1日から新支部長47名が就任

（任期：2012年1月1日～2013年12月31日）

北海道支部長／齊藤憲司（会員・留任）、青森支部長／戸間替治男（会友・新任）、岩手支部長／角田良一（会友・留任）、秋田支部長／鈴木洋一（会員・留任）、山形支部長／小林新平（会員・新任）、宮城支部長／佐々木光一（支部員・新任）、福島支部長／遠藤衛（会友・留任）、群馬支部長／井田裕二郎（会員・新任）、栃木支部長／坂野美好（会友・留任）、茨城支部長／大貫亘（会員・留任）、新潟支部長／須川敏春（支部員・新任）、東京支部長／石原正道（会員・留任）、神奈川支部長／西村建子（会員・再任）、千葉支部長／高山和夫（会員・留任）、埼玉支部長／榎島昇（会員・新任）、山梨支部長／小林栄明（会員・新任）、長野支部長／藤森順治（会員・新任）、福井支部長／高橋正行（会員・再任）、石川支部長／高浜八郎（会友・新任）、富山支部長／稲澤一彦（会員・新任）、静岡支部長／薩川高宏（会員・

■ 表紙のことば

「踊り子」織戸千尋 会員（三重支部）

舞台の袖でトーションの紐を結びなおす踊り子。タングステンタイプのフラッドランプ下の撮影ですが、銀塩時代のデイルイトタイプのリバーサルフィルムですと、照明ランプにブルーのフィルムを掛けたり、カメラに色温度補正用のフィルターを付けたりと、シャッター以前にする仕事がありました。このような人工照明の舞台やスタジオの撮影にも、デジカメにはWBがあり、色温度が自由に換えられ、ISO感度も臨機応変に対応出来、だれでもいつでも簡単に綺麗に写る時代です。

便利さで選べばデジカメに凱歌が上がると思います。しかし私自身 500CM、M6、M7、F6と手放し、半分以上の台数になりましたが、銀塩を卒業することが出来ません。

ニコン D3S・タムロン 28～300mm（120mm 使用）・絞り：F8・シャッター：1/15 秒・ISO800（WB タングステン）

留任）、愛知支部長／市川喜久雄（会員・新任）、岐阜支部長／加藤徹（会友・新任）、三重支部長／織戸千尋（会員・再任）、京都支部長／木村晃造（会員・再任）、滋賀支部長／南村初江（会友・新任）、大阪支部長／小原英治（会員・新任）、兵庫支部長／柳原香（会員・留任）、奈良支部長／出合章泰（会友・新任）、和歌山支部長／前和幸（会員・新任）、岡山支部長／神達勝之（会員・新任）、広島支部長／鉄田武範（会員・新任）、山口支部長／堀田俊秀（会員・留任）、鳥取支部長／岩下直行（会員・再任）、島根支部長／佐々木聡（会員・留任）、香川支部長／安野文子（会友・新任）、徳島支部長／平野史子（会友・新任）、高知支部長／永澤悦穂（会友・留任）、愛媛支部長／一色龍太郎（会員・留任）、福岡支部長／内山惇（会員・留任）、大分支部長／廣瀬元隆（会員・新任）、長崎支部長／宮崎圭介（会員・留任）、佐賀支部長／雪竹智（会員・留任）、宮崎支部長／楠元正輝（会員・新任）、熊本支部長／本田政春（会員・新任）、鹿児島支部長／米倉保幸（会友・新任）、沖縄支部長／添石幸安（支部員・留任）

■ 東日本大震災の義援金について

◎ 支部単位で直接寄付

山形支部／250,000円、神奈川支部／138,350円、広島支部／100,000円、石川支部／30,000円、群馬支部／53,000円

◎ 本部を通じて寄付

奈良支部／42,000円、北海道支部／10,000円、高知支部／10,000円、山口支部／10,000円、青森支部／20,000円、新潟支部／10,000円、静岡支部／32,200円、福岡支部／30,000円、東京支部／50,000円、栃木支部／26,000円、兵庫支部／90,000円、香川支部／13,000円、愛知支部／62,004円、岐阜支部／10,000円

上記14支部415,204円、本部10万円、合計515,204円を日本赤十字社に寄付。

■ 会員・会友情報

古澤和子会員（大阪）2011年9月9日逝去

小山保会員（兵庫）2011年9月20日逝去
山崎喜史会員（奈良）2011年9月23日逝去
後藤輝夫会員（福島）2011年10月16日逝去
中島七光会員（熊本）2011年11月5日逝去
飯田長雄会員（宮崎）2011年11月8日逝去
木戸勝己会友（福岡）2011年11月10日自主退会
平野孝三会員（三重）2011年11月12日逝去
荒井賢治会員（徳島）2011年11月22日逝去
岡田淳会員（東京）2011年12月7日自主退会
田中登志男会友（群馬）2011年12月31日自主退会
原田みさ子会友（神奈川）2011年12月31日自主退会
原田博吉会員（島根）2011年12月31日自主退会
野村芳江会友（東京）2011年12月31日自主退会
里村良一会友（岐阜）2011年12月31日自主退会
戸塚就孝会員（福井）2011年12月31日自主退会
遠藤日出夫会員（福島）2011年12月31日自主退会

■ 「第60回二科会写真部展」公募ポスター掲示のお願い

第60回展の公募ポスターが完成しました。掲示のご協力や掲示場所をご紹介いただける方は、どなたでも事務局へご連絡ください。ポスターをお送りします。



■ 第60回二科会写真部展応募書類の請求先

FAX、Eメール、葉書でご請求ください。
FAX 03-3470-8034 E-MAIL shashin@nika.or.jp
〒106-0031東京都港区西麻布1-4-20-601
二科会写真部「第60回展」係

二科会写真部広報誌「REAL」vol.16
2012年1月26日発行
発行/一般社団法人二科会写真部
発行人/大竹省二
編集/一般社団法人二科会写真部
〒106-0031東京都港区西麻布1-4-20
ワルトハイム西麻布601
TEL.03-3470-8033 FAX.03-3470-8034
http://www.nika.or.jp/shashin